

第 6 期 決算公告

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

株式会社 庄屋フードシステム

本決算公告に記載の金額は、表示単位未満の端数、比率について切捨てて表示しております。

貸 借 対 照 表

(2022年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,798,314	流動負債	864,141
現金及び預金	2,056,974	買掛金	303,932
売掛金	35,126	リース債務	8,685
原材料及び貯蔵品	35,474	関係会社未払金	125,016
関係会社立替金	1,265	未払金	58,926
未収入金	283,901	未払費用	269,721
前払費用	32,850	未払消費税	46,827
未収補償金	348,868	賞与引当金	35,934
その他	8,316	未払法人税等	13,189
貸倒引当金	△4,463	その他	1,907
固定資産	1,961,046	固定負債	3,559,786
有形固定資産	1,356,398	関係会社長期借入金	2,270,000
建物	1,255,935	長期借入金	1,050,000
工具器具備品	37,302	リース債務	7,617
リース資産	15,277	資産除去債務	225,805
その他	47,883	その他	6,363
無形固定資産	5,849	負債合計	4,423,928
ソフトウエア	680	(純資産の部)	
その他	5,168	株主資本	335,432
投資その他の資産	598,798	資本金	30,000
差入保証金	141,807	資本剰余金	53,188
敷金	367,076	資本準備金	43,188
繰延税金資産	73,508	その他資本剰余金	10,000
その他	16,465	利益剰余金	252,243
貸倒引当金	△60	その他利益剰余金	252,243
		繰越利益剰余金	252,243
		純資産合計	335,432
資産合計	4,759,360	負債・純資産合計	4,759,360

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

(a) 棚卸資産

①原材料及び貯蔵品

最終仕入原価法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

(a) 有形固定資産(リース資産を除く)

建物(建物附属設備を除く)及び2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法、その他の有形固定資産は定率法を採用しております。

(b) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

(c) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

(a) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(b) 賞与引当金

当社及び当社の連結子会社の従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社の主な収益は、飲食店における顧客からの注文に基づく料理の提供であり、顧客へ料理を提供し対価を受領した時点で履行義務が充足されることから、当該時点で収益を認識しております。

2. 会計方針の変更に関する注記

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又サービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、売上高より控除する方法に変更しております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ 231,178 千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前純利益へ与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日、以下「時価算定会計基準」）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日）第 44-2 項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。なお、これによる当事業年度の計算書類への影響はありません。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産および担保に係る債務

担保に供している資産

現金及び預金	2,033,728	千円
建物	3,893	千円
計	2,037,622	千円

上記資産は親会社の金融機関からの借入に対する担保提供であり、当社には担保付債務はありません。

(2) 有形固定資産の取得価額から控除している減価償却累計額及び減損損失累計額は次のとおりであります。

建物	2,264,333	千円
工具器具備品	635,950	千円
リース資産	75,322	千円
その他	200,864	千円

4. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の主な発生事由は、減損損失及び資産除去債務です。

5. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社

会社等の名称	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円) (注)5	科目	期末残高(千円)
(株)フードプラス・ホールディングス	被所有直接 100% 役員の兼務	経営指導料の支払(注)1	298,440	関係会社未払金	16,368
		店舗他家賃の支払(注)2	67,200		
		資金の借入(注)3 利息の支払	- 46,311	関係会社長期借入金	2,270,000
		経費の立替	7,264	関係会社未払金	61,282
		担保差入(注)4	-	保証債務	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注)1. 当社が委託した業務内容等を勘案した上で、委託契約金額について協議の上決定しております。
- (注)2. 近隣相場等の市場価格を勘案して、協議の上決定しております。
- (注)3. 資金の借入については、市場金利を勘案して決定しております。なお、担保は預け入れておりません。
- (注)4. 親会社の金融機関からの借入について、担保を提供しています。なお、それに伴う担保提供料の受領は行っておりません。
- (注)5. 取引金額には消費税を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(2) 兄弟会社及び関連会社等

会社等の名称	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円) (注)	科目	期末残高(千円)
(株)庄屋フーズ&ライフ	-	経費の立替	1,249	関係会社未収入金	1,265
		商品の販売	263		

(注) 取引金額には消費税を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

6. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 559,053 円 85 銭
- (2) 1株当たり当期純利益 387,458 円 66 銭

7. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はございません。

8. 当期純損益金額

当期純利益 232,440千円